

## 議会報告会・意見交換会開催結果（建設環境委員会）

開催日時	平成31年1月29日（火）午後2時～午後3時10分
テーマ	家庭ごみの削減、減量について
参加団体（人数）	まつえ環境市民会議 会員34名
出席委員	（建設環境委員会） 畑尾幸生委員長、三島伸夫副委員長、比良幸男委員、川島光雄委員、野津照雄委員、吉儀敬子委員、長谷川修二委員、出川桃子委員
開催場所	第1常任委員会室
主な質疑・要望・提言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出るごみの量を減らすためには大部分が水分であるので水切り器具の普及をはかることが必要。テストでは25%減の試算がある。</li> <li>・ コンポストに対する補助金がない、バイオ式等推進して欲しい。</li> <li>・ 愛のひと絞り運動やリサイクルを進めることによって、松江市の収入になることをもっとわかる用に啓発してはどうか。</li> <li>・ 若い人の理解を得るために、例えば親子で一緒に考える機会を作ってはどうか。</li> <li>・ 市民に意識を高めてもらうために普及啓発を行政がコストをかけて行うべきではないか。</li> <li>・ 水分を切ることでどれだけ減量できるかモニター制で調査され、1割程度削減できた。</li> <li>・ 商店等での商品の過剰包装も問題では、簡素化できれば削減可能、企業の協力が必要ではあるが。消費者も過剰包装を断ることも必要。</li> <li>・ 生ごみをEM菌で有機肥料化し庭木などの肥料に講習会を開催している。こうした運動を取り組んでどうか。</li> <li>・ ごみ出しを行うのに移動することが難しい方へ、ごみ出し歩行機は便利</li> <li>・ ペットボトルを使わず、水筒など活用しお茶を持ち歩くようにする。</li> <li>・ ごみ袋の文字が分かりにくい。いろいろな情報が書いてありぱっと見ただけでは分かりにくい。</li> <li>・ ごみの出し方などの説明会が、自治会の総会などと併せて開催されると出席者が男性が多くなる傾向があり、女性を対象とした啓発が必要。</li> <li>・ 行政と環境保全推進員が離れすぎているように思う。</li> <li>・ プラスチックごみの出し方をもう少し気を付けたい。</li> <li>・ 水分を切ると減量になる。3カ月続けたが結構な減量になった。</li> <li>・ 安価なものでかまわないので水分を絞る袋を配布してはどうか。</li> <li>・ ごみ集積場に地区外のごみが入れられ困っている。</li> <li>・ 水分を切って圧縮する機械(文鎮のようなもの)に補助金を出しては。</li> <li>・ 子どもたちの意識啓発が非常に重要だと思う。行政の役割ではないか。</li> <li>・ 水を切って捨てる。これをモニター制で実施されたがどのような効果があったのか、リサイクル都市推進課から結果の報告がない。</li> </ul>